

ドイツ語入門 Introduction to German

素養科目 1年/前期 1単位 選択必修科目

科目責任者 畑澤 裕子、澤元 互、リースナー・フランク、相馬 大樹、阪東 知子
授業担当者 A組 1班：澤元 互、 A組 2班：阪東 知子
B組 1班：リースナー・フランク、 B組 2班：澤元 互
C組 1班：相馬 大樹、 C組 2班：畑澤 裕子

■教育目的（各クラス共通）

新しい外国語との出会いは、新しい世界との出会いを意味します。それはさまざまな発見に満ち、私たちの知的好奇心を大いに刺激してくれます。また、外国を知ることによって日本という国を改めて理解し、自分のこれまでのものの見方や考え方、感じ方を問い直す契機にもなるでしょう。

ドイツ語は、母国語としてドイツ、オーストリア、スイスなどの国々だけでなく、東欧諸国でも広く通用し、ヨーロッパではロシア語に次いで多く話される言語です。ヨーロッパのほぼ真ん中に位置するドイツは9つの国々と国境を接していますが、言語や文化を異にする国々が、どう互いに平和的に共存し繁栄しうるのが、ヨーロッパ共同体(EU)が取り組んでいる壮大な試みに世界が注目していますが、その牽引力としての役割をドイツは果たしています。

明治以来、日本はドイツから多くを学び、近代化を成し遂げました。医学・薬学や物理、化学など、特に近代科学の分野での日本の発展は、ドイツとの関わり抜きには語れないものです。これからの日本が進むべき道筋を考える上でも、ドイツなど、ヨーロッパ諸国の歩みは重要な道しるべとなるにちがいありません。

ドイツ語を楽しく学びながら、世界の情報を少しでもより客観的に捉えられるよう、自身の言語理解力、コミュニケーション能力を高めていきましょう。

■学習到達目標（各クラス共通）

1. ドイツ語の発音を学び、やさしい文章を音読できる。
2. 初歩の基本文法を学び、ドイツ語のアウトラインを理解する。
3. 基本語彙と基本文例に慣れ親しみ、簡単な日常会話力を養う。
4. 辞書を使って、平易な文章が読める力を身につける。
5. ドイツやヨーロッパの文化や社会生活などを知り、日本と比較しながら、幅広い視点を養う。

■授業内容

A組 1班 澤元 互

教科書の前半を扱い(後半は後期「ドイツ語基礎」で学習)、単語や短い文を発音しながら、ドイツ語の音と表現に慣れ、基本的なドイツ語の構造を理解することを目指します。練習問題で文法事項を確認しながら進めていきます。新しい言葉の習得には、繰り返しが大切です。テキスト付属のCDは、授業時以外にも聴き、発音練習に役立ててください。

[No.1~2] ガイダンス(予習復習・授業の進め方など)／第0課：ドイツ語の発音

[No.2~3] 第1課：動詞の現在人称変化

[No.3~4] 第2課：名詞の性／冠詞の格変化

[No.5~6] 第3課：不規則動詞変化／命令形

[No.7~8] 第4課：定冠詞類／不定冠詞類

[No.9~10] 第5課：複数形／人称代名詞

[No.11~12] 第6課：前置詞の格支配

[No.13~14] 第7課：形容詞の格変化

[No.15] これまでの復習

準備学習(予習・復習)：予習よりも復習を重視し、例文・歌詞を暗唱してください。

授業形態：双方向型授業、講義

課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、説明をする。【成績評価方法】原則として期末試験(100%)で判定します。

教科書：『パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール』上野成利・本田雅也・著(白水社)

参考書：独和辞典(電子辞書可)

A組 2班 阪東 知子

教科書の前半部を扱います(後半部は後期科目「ドイツ語基礎」に引き継ぎます)。単語や短い文を発音しながら、ドイツ語の音と表現に慣れ、基本的なドイツ語の構造を理解することを目指します。練習問題で文法事項を確認しながら進めていきます。

[No. 1~2] アルファベット、発音練習、数詞

[No. 3~4] 第1課：動詞の現在人称変化(規則変化)

[No. 5~7] 第2課・第3課：名詞の性・数、冠詞の格変化

[No. 8~9] 第4課：動詞の現在人称変化(不規則変化)、命令形

[No. 10~12] 第5課：前置詞、zu 不定詞

[No. 13~15] 第 6 課：冠詞類、形容詞

準備学習（予習・復習）：予習：教科書に目を通し、新しい単語を辞書で調べる(30分)／復習：新しく学んだ単語や表現、文法を整理しておく(30分以上)

授業形態：課題解決型学習、双方向型授業、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、説明する。【成績評価方法】期末試験(80%)と授業意欲(20%)で総合評価する。

教科書：『ドイツ語一步一步』山本洋一著(郁文堂)

参考書：独和辞典(電子辞書可)

B 組 1 班 リースナー・フランク

前期(ドイツ語入門)と後期(ドイツ語基礎)あわせて、ドイツ語の文法をひと通り学習します。ドイツ語の読解・コミュニケーションのための基礎的な文法力を養います。ドイツの生活や習慣にも触れながら、テキストの文法問題、聞き取りや読みの練習でドイツ語の語彙を増やします。

[No.1~2] 導入、アルファベットと発音ドイツ語の発音、数詞、挨拶

[No.3~4] 第 1 課：動詞の現在人称変化・定動詞の位置

[No.5~7] 第 2 課・第 3 課：不規則変化動詞・冠詞(1 格)・数詞

[No.9~10] 第 4 課：名詞の性・定冠詞と不定冠詞・代名詞

[No.11~13] 第 5 課・第 6 課：名詞の複数形・20 以上の数、人称代名詞の 3 格と 4 格

[No.14~15] 第 7 課：前置詞・前置詞と定冠詞の融合形

準備学習（予習・復習）：予習：辞書を引いてわからない単語を調べる(30分)／復習：宿題をしなが、授業で新しく学んだ単語および文法項目を整理しておく。(30分以上)

授業形態：双方向型授業、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：課題(レポート、試験等)のフィードバックについて：授業や定期試験に関する質問等を受け付け、その指導をする。

成績評価方法：期末試験(80%)、授業意欲(20%)で総合評価する。

教科書：『ANFANG』改訂版 矢羽々崇、リースナー フランク 著 (第三書房 2020 年) ISBN978-4-8086-1196-5

参考書：独和辞典(電子辞書可、指定したスマートフォンアプリケーション可)

B 組 2 班 澤元 互

教科書の前半を扱い(後半は後期「ドイツ語基礎」で学習)、単語や短い文を発音しながら、ドイツ語の音と表現に慣れ、基本的なドイツ語の構造を理解することを目指します。練習問題で文法事項を確認しながら進めていきます。新しい言葉の習得には、繰り返しが大切です。テキスト付属の CD は、授業時以外にも聞いて、発音練習に役立ててください。

[No.1~2] ガイダンス(予習復習・授業の進め方など)／第 0 課：ドイツ語の発音

[No.2~3] 第 1 課：動詞の現在人称変化

[No.3~4] 第 2 課：名詞の性／冠詞の格変化

[No.5~6] 第 3 課：不規則動詞変化／命令形

[No.7~8] 第 4 課：定冠詞類／不定冠詞類

[No.9~10] 第 5 課：複数形／人称代名詞

[No.11~12] 第 6 課：前置詞の格支配

[No.13~14] 第 7 課：形容詞の格変化

[No.15] これまでの復習

準備学習（予習・復習）：予習よりも復習を重視し、例文・歌詞を暗唱してください。

授業形態：双方向型授業、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、説明をする。【成績評価方法】原則として期末試験(100%)で判定します。

教科書：『パノラマ 初級ドイツ語ゼミナール』上野成利・本田雅也・著(白水社)

参考書：独和辞典(電子辞書可)

C 組 1 班 相馬 大樹

教科書の前半部を扱います(後半部は後期科目「ドイツ語基礎」に引き継ぎます)。単語や短い文を発音しながら、ドイツ語の音と表現に慣れ、基本的なドイツ語の構造を理解することを目指します。練習問題で文法事項を確認しながら進めていきます。新しい言語の習得には繰り返しが不可欠です。テキスト付属の CD は、授業以外でも聞いて、発音練習や復習に役立ててください。

[No.1~2] アルファベットと発音、あいさつ

[No.3~5] 第 1 課：動詞の現在人称変化 1

[No.6~7] 第 2 課：動詞の現在人称変化 2

[No.8~12] 第 3 課・第 4 課・第 5 課：冠詞の変化、複数形

[No.13~15] 第 6 課：動詞の人称変化 3、命令形

準備学習（予習・復習）：予習：教科書の説明に目を通し、新しい単語を調べる(30分)／復習：新しく学んだ文法と単語を自分なりに整理しておく(30分以上)。

授業形態：課題解決型学習、双方向型授業、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や定期試験に関する質問等を個別に受け付け説明をする。【成績評価方法】期末試験(80%)と小テスト(20%)で総合評価する。

教科書：『ゲナウ！レーゼン』新倉真矢子 他 著(第三書房)

参考書：独和辞典(電子辞書可)授業で使用します。

C組 2班 畑澤 裕子

教科書の前半を扱い(後半は後期「ドイツ語基礎」で学習)、単語や短い文を発音しながら、ドイツ語の音と表現に慣れ、基本的なドイツ語の構造を理解することを目指します。練習問題で文法事項を確認しながら進めていきます。新しい言葉の習得には、繰り返しが大切です。MY-CAST 上の授業スライドやテキスト付属の音声聞いて、発音練習や復習に役立ててください。

[No.1～2] アルファベットと発音、挨拶

[No.3～5] 動詞の現在人称変化

[No.6～7] 不規則動詞、命令文

[No.8～12] 冠詞の変化、複数形

[No.13～15] 人称代名詞・冠詞類

準備学習（予習・復習）：予習：教科書の説明に目を通し、新しい単語を調べる(30分)／復習：新しく学んだ文法と単語を自分なりに整理しておく(30分以上)

授業形態：課題解決型学習、双方向型授業 (ICT 活用)、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：【フィードバック】授業や課題、小テストに関する質問等を個別に受け付け、説明をする。【成績評価方法】課題(80%)、小テスト(20%)で総合評価する。

教科書：『ideal 例文で学ぶドイツ語文法 改訂版』秋葉裕一 他 著(朝日出版社)

参考書：独和辞典(電子辞書可)